



いちかわみさと

議会だより

第71号

2023年5月1日発行



● 春の四尾連湖畔（写真提供：岸本眞男）

令和5年 山梨県市川三郷町

3月定例会

● 条例の制定・改正・人事	P2
● 令和4年度一般会計補正予算	P3
● 令和5年度一般会計当初予算	P4～5
● 常任委員会報告	P6～7
● 組合議会の報告	P8
● 一般質問の項目	P9
● 一般質問の概要	P10～14
● 討論・審議結果	P15
● みんなのページ・編集後記	P16

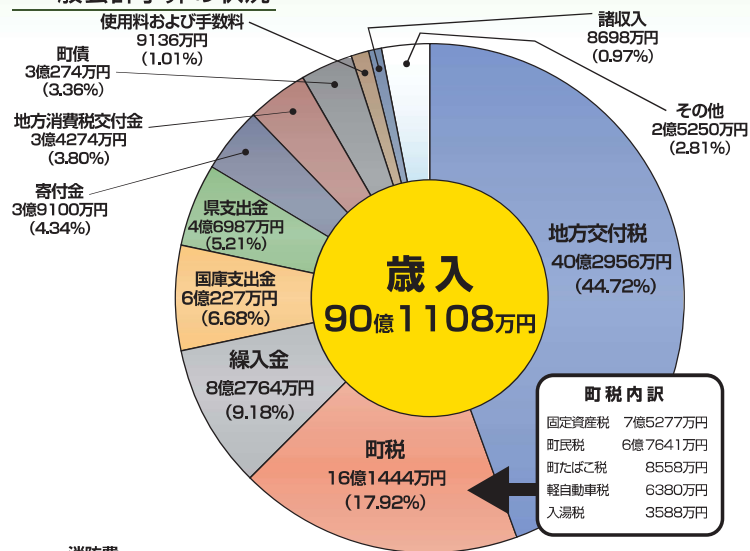
令和5年度一般会計当初予算

90億1108万円を可決

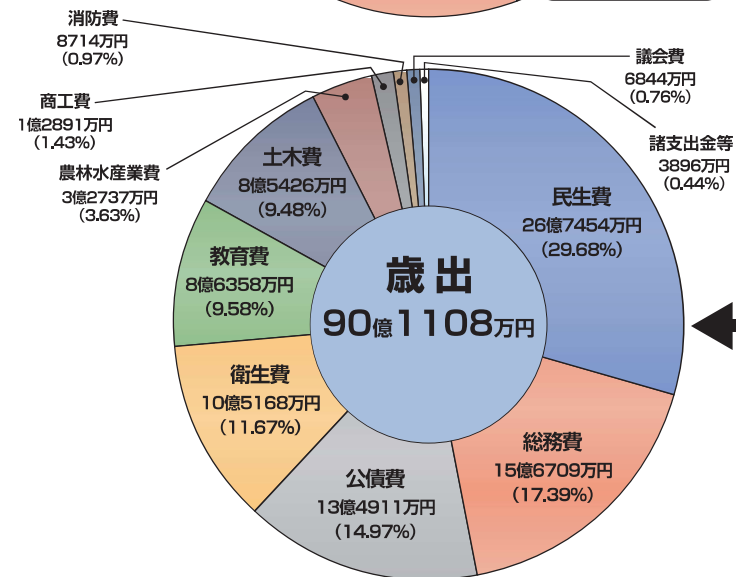
前年度比

1.14%減

●一般会計予算の状況



- 民生費
高齢者、児童、障害者等の福祉施策や生活保護にかかる経費
- 総務費
庁舎管理、徴税事務、戸籍、住民基本台帳関係事務、選挙、統計調査などの経費
- 公債費
町債（町の借入金）の元金・利子などの支払いにかかる経費
- 衛生費
環境保全、疾病予防、健康増進などの経費
- 教育費
学校教育、社会教育などの経費
- 土木費
道路や河川、公園などの社会資本整備のための経費
- 農林水産業費
農林水産業の振興や農林道の整備にかかる経費
- 商工費
商工業や観光の振興などの経費
- 消防費
消防や火災予防など、災害対策のための経費
- 議会費
議会運営のための経費



●特別会計[57億8199万円]を含めた総額[147億9307万円]の状況

会計名	令和5年度予算額・構成比	前年度比(金額・増減率)	一般会計からの繰入額
一般会計	90億1108万円 60.91%	△1億428万円 △1.14%	
特別会計			
国民健康保険[事業勘定]	17億4344万円 11.79%	1586万円 0.92%	1億2814万円
国民健康保険[直営診療施設勘定]	7018万円 0.47%	233万円 3.43%	3943万円
介護保険	23億253万円 15.56%	843万円 0.37%	4億77万円
訪問看護ステーション西八代	3932万円 0.27%	118万円 3.10%	3億9107万円
簡易水道事業	2億4443万円 1.65%	1648万円 7.23%	1億2330万円
公共下水道事業	10億3056万円 6.97%	△4534万円 △4.21%	5億2281万円
農業集落排水事業	3526万円 0.24%	△4万円 △0.11%	2397万円
戸別浄化槽整備推進事業	840万円 0.06%	△401万円 △32.33%	222万円
温泉事業	1954万円 0.13%	△4881万円 △71.41%	610万円
歌舞伎文化公園管理	2537万円 0.17%	△145万円 △5.41%	2363万円
後期高齢者医療	2億4657万円 1.67%	△3429万円 △12.21%	7465万円
その他 6件	1641万円 0.11%	— —	—
17特別会計合計	57億8199万円 39.09%	△8987万円 △1.53%	
一般会計・特別会計の合計	147億9307万円 100%	△1億9414万円 △1.30%	

金額:万円未満は四捨五入

公営企業会計	上水道事業事業収益	1億8809万円	254万円	1.37%	
--------	-----------	----------	-------	-------	--

主な新規事業	予算額	主な継続事業	予算額
自然災害防止対策道路改修事業	1700万円	峡南医療センター負担金	2億6952万円
土地改良施設適正化事業	1550万円	一般廃棄物処理事業（負担金）	2億3973万円
三珠健康管理センター空調設備改修事業	1003万円	つむぎの湯・いきいきセンター事業	7431万円
つむぎの湯温泉水中ポンプ整備事業	985万円	一般廃棄物処理事業（委託料）	5922万円
トンネル長寿命化修繕計画（トンネル点検）	880万円	子育て支援医療費助成事業	5754万円
第3次総合計画策定事業	869万円	放課後児童健全育成事業	4996万円
橋梁長寿命化修繕計画事業（橋梁修繕）	550万円	学校給食費補助事業	4242万円
防災行政無線整備事業	550万円	少人数学級推進事業	4141万円
価格高騰による学校給食材料費負担事業	509万円	市川南中学校屋上防水改修事業	3650万円
農業用水利施設事業	500万円	町道矢作川浦線道路改良事業	3000万円
県営農村地域防災減災事業（富士川西部地区）	400万円	ニードスボーツセンター事業	2661万円
管内小中学校屋内運動場照明設備LED化事業	396万円	民間外国語指導者設置事業	2378万円
水防倉庫建替事業	340万円	学校図書館司書の配置	2366万円
特別支援学級空調設備設置事業	167万円	県営中山間地域総合整備事業	2250万円
上野いこいの広場石積み基礎設置事業	165万円	コミュニティバス運行事業	2246万円
防犯灯LED化事業	150万円	学校用務員の配置	2149万円



常任委員会 報告

質疑の一部を
要旨のみ掲載します

総務厚生常任委員会

開催日
3/7

職員の定年延長制度

問 定年延長制度の開始により、退職後の再雇用等の制度はどうなるのか。

一瀬総務課長 退職後再雇用の制度は定年延長に組み込まれるような形になるが、継続する。また、会計年度任用職員制度は、定年延長制度とは別であり、従前の通り継続する。

職員の定数条例改正

問 本町の現状の職員数は、類似団体と比較して妥当か。

総務課長 類似団体と比較すると、本町の職員数はやや多い。退職職員と採用職員の間を計画的に調整し、類似団体に近づくよう努力していく。

行政組織の改正

問 今回の行政組織の改編では、主目的である財政面での再建のプロセスが見えないが。

教育土木常任委員会

開催日
3/9

衛生費

問 市川・三珠地区の町指定ゴミ袋の製造等が町主体となるべきではないか。

丹沢生活環境課長 峡南衛生組合からも町が主体となつてほしいとの要望があり、変更を検討していく。

問 町で委託しているゴミ収集業者への安全指導や安全管理は。

生活環境課長 普段から安全管理の徹底を呼びかけている。今般、不幸な事故が発生したが、原因等を検証し、更なる安全対策を徹底するよう強く指導していく。

問 ゴミの減量化を進めるための取組は。

生活環境課長 町民一人一人の意識改革こそが有効策と考える。広報等を通じてゴミ減量化への意識改革をしていく。

農業振興費

問 *地域おこし協力隊報酬費等の減額の理由は。

望月農林課長 令和4年度中、隊員募集を続けてきたが農業関係では応募者がなく、事業費が減額となった。

***地域おこし協力隊：総務省が地域力向上を目的に推進している事業。農業に限らず、商工・住民支援、地域PRなど活動内容は多岐にわたる。**

国民健康保険税改正

問 国民健康保険税は県内の市町村が本町と同様に税率を改定するのか。

戸沢税務課長 他の市町村では、既に税率の改定は実施済みとなっており、県内27市町村のうち25市町村が改定している。残り2町村の一つが本町である。

問 税率改定について町民への説明はいつ行うのか。

立川町民課長 今議会で議決が得られれば、すみやかに国保加入者への説明を実施する。

安全対策費

問 防犯灯のLED化工事は何灯を予定しているか。

林防災課長 設置場所や状態によつて金額が異なるので灯数は明確にできないが、30〜50灯となる見込み。消費電力量の多い水銀灯から順次交換を予定している。

商工観光費

問 観光施設のトイレ洋式化を進めていたが状況は。

塩沢商工観光課長 令和4年度で全ての観光施設のトイレ洋式化が完了した。

消防費

問 防災無線機の更新はどのようなスケジュールで進めるか。

防災課長 令和5年度に設計業務を完了し、令和6年度から設置工事を行う予定。

戸籍住民台帳費

(マイナンバーカード関連)

問 マイナンバーカードの普及率を上げる方策は。

町民課長 地区公民館のみならず自治公民館へも出張し、町民の取得申請を促進する。また、広報等の周知により、個人宅への出張機会も増やしていく。

保育所費(通園バス関連)

問 通園バス安全装置補助金は、どのような対策費用か。

渡辺保育課長 内閣府の基準に基づいた、園児の乗車・降車の確認を徹底するためのシステムを導入するための費用である。安全確認のボタン操作があり、これを押した場合はクラクションが鳴り注意を促すことになる。

総務費

(損害賠償弁護士費用)

問 前町長らに対する損害賠償請求における弁護士費用の計上は。

総務課長 担当の弁護士から見積もりが届いていないため、現状では予算化できない。

政策推進費

(地域活性化起業人事業関連)

問 *地域活性化起業人事業の経費が計上されているが。

井上政策秘書課長 当経費については、特別交付税により100%充当されており、町の負担はない。地域活性化起業人事業における町に対する成果は十分上がっている。

***地域活性化起業人事業：地方公共団体が民間企業等の社員を受け入れ、そのノウハウや知見を活かし、地域の魅力や価値の向上等につながる業務に従事してもらう事業。**

教育費

問 中学校部活動の地域移行の進捗状況は。

相川教育総務課長 令和3・4年度、市川中学校吹奏楽部が県の補助金を活用して地域指導を実施した。他の部活動については、今後、協議会を立ち上げ検討していく。

問 市川南中学校の屋上防水工事は十分な現地確認をした上での判断か。

教育総務課長 現場に何度も足を運び、状況を把握した上で、応急処置の限界がきたと判断した。

問 生涯学習センター受付業務の外部団体への委託は妥当か。

森川生涯学習課長 現在、市川三郷スポーツクラブに委託しており、これまでの活動実績を踏まえた上での委託である。





インターネットから会議録も閲覧可能です。どうぞご覧ください。▶▶▶

行政組合

中巨摩地区
広域事務組合

峽南衛生組合

山梨県後期高齢者
医療広域連合

(報告 松野 清貴)



(報告) 諏訪桂一

（報告新津千吉）

(報告 高尾 貫)

問 ふるさと納税の増収を目指せ

答 一 「モノ消費」だけでなく、観光を兼ねた「コト消費（体験型の消費）」の返礼品開発を進め、税収増を目指す一

小川 好一 議員



問 花火関係の返礼品は。政策秘書課長 神明の花火の有料観覧席を返礼品に加えていくことを前向きに考えていく。

問 宿泊施設の提供、「温泉と花火」のセットなどは考えられないか。政策秘書課長 四尾連湖キヤンプ場とSUP（サップ）ボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進んでいる。

問 ふるさと納税について。本町のふるさと納税の状況は。町長 ふるさと納税寄付額は令和2年度が3億9536万円、令和3年度は3億6324万円だった。農産物を使用したお菓子や加工品の開発、新しい体験型の返礼品も視野に入れ「モノ消費」から「コト消費（体験型の消費）」に広げられるよう企画をしていく。観光を兼ねた体験型の返礼品づくりで、交流人口の増加、移住定住までつながれるようにしていきたい。



SUP

問 第三者委員会の答申について。入札方式を取り入れることを可能とする要領改正を行う。また、一般競争入札に引続き下げた。また、随意契約ガイドラインを策定し、制度が正しく運用されているかを検証する委員会の設置を検討している。

問 人口増に直結する子育て政策を全面に打ち出すべき

答 一 機構改革においても、子育ての充実をはかり看板事業となる方向性を導き出したい一

齋藤 美佐 議員



問 本町の子育て支援の理念と方針は。町長 地域における子育て支援、親子の健康づくり、学びを通じた成長、暮らしやすいまちづくりを掲げ、具体的な行動計画を定め事業を進めている。

問 伴走型相談支援と、国の出産・子育て応援交付金事業を円滑にしていけるか。町長 本町においては既に妊娠、出産、子育てまで助産師や保健師が個別訪問や面談を通じて、相談支援を行っている。今後は他の自治体の先進事例も参考とし、さらに伴走型相談支援の充実を図っていく。

問 伴走型相談支援と、国の出産・子育て応援交付金事業を円滑にしていけるか。町長 本町においては既に妊娠、出産、子育てまで助産師や保健師が個別訪問や面談を通じて、相談支援を行っている。今後は他の自治体の先進事例も参考とし、さらに伴走型相談支援の充実を図っていく。

問 伴走型相談支援と、国の出産・子育て応援交付金事業を円滑にしていけるか。町長 本町においては既に妊娠、出産、子育てまで助産師や保健師が個別訪問や面談を通じて、相談支援を行っている。今後は他の自治体の先進事例も参考とし、さらに伴走型相談支援の充実を図っていく。

問 伴走型相談支援と、国の出産・子育て応援交付金事業を円滑にしていけるか。町長 本町においては既に妊娠、出産、子育てまで助産師や保健師が個別訪問や面談を通じて、相談支援を行っている。今後は他の自治体の先進事例も参考とし、さらに伴走型相談支援の充実を図っていく。



＊伴走型相談支援：妊娠時から出産、子育てまで切れ目なく、全ての妊婦・子ども・子育て家庭を支援する仕組み。

＊プレコンセプション：早い時期から妊娠・出産の知識をもち、自分の身体への健康意識を高めること。

問 今こそ「ネーミングライツ」を積極的に取り入れては

答 一 実施要領を整備し、本年度より進める一

新津 千吉 議員



問 町の自殺対策計画は、令和4年度までだが、その内容と今後は。町長 計画期間基本理念は、生きることの包括的支援推進と、有機的な連携の強化。対応の段階に応じたレベルごとの対策、実践と啓発を両輪とし推進、事前予防、危機対応、事後対応の段階ごとの施策を展開している。

問 財政が厳しい時こそ「ネーミングライツ」を導入する考えは。町長 令和5年度より財源確保を図るため実施要領を整備し、「ネーミングライツ」事業の実施を予定しており、「ラウンドテーブル」市川三郷の参加企業にも個別に周知していく。



消防団

＊ネーミングライツ：命名権。契約により施設の名前を企業名や商品名や愛称を付与させる代わりに企業から対価を得る施設の運営維持とサービスの向上を図る。

＊ラウンドテーブル市川三郷：町内事業者が一堂に会して業績向上と賃金アップに向けて対話する場。

問 近未来型で効果的な行財政改革を

答 一 機構改革に着手し、行政サービスの向上と財政健全化を推進していく一

笠井 雄一 議員



問 機構改革は行財政改革にどのように結びつくのか。町長 今回の機構改革の大きな目的は、時代の変化に応じた行政サービスの構築である。事務事業や公共施設の見直し、業務量の適正配分など、町の業務全般の見直しが必要となる。業務や職員数の適正化などの検討を進め、行財政改革につなげていきたい。

令和5年度の組織改革では、
①総務課内に行財政改革推進係を新設
②福祉部門の再編（介護課と子育て支援課の新設）
③広聴広報係の業務を秘書課の業務を統合
④政策推進係に企画係の業務を統合
の四点がポイント。町長をトップに全課長で構成する行財政改革推進本部を設置し、全庁一丸となって再編を推進する。

問 事業の即効性はあるか。町長 事務事業の見直し等の効果は短期間で得られると思うが、公共施設の見直し等についてはある程度の期間が必要。新たな起債は抑制し、公債費の削減に努めていく。

問 財政困難な中で、デジタル化（DXやAI）推進の意義は。町長 費用対効果については可能な限り予測を立てながら推進する。最小限の予算をかけ、AIを用いた文字起こしなどを導入する予定。財政健全化に向かう一つの手段としてDXには取り組んでいく。

＊AI：人工知能の略称。人間には処理しきれない膨大なデータの高速処理を行い、翻訳や自動運転、医療画像診断や囲碁といった人間の知的活動に大きな役割を果たしつつある。



一之瀬 滋輝 議員

問 本町におけるSDGsへの取り組みは

答 — SDGsを町政に有効活用する —

問 本町におけるSDGsへの取り組みとその目的は。

町長 自治体の社会的責任に加え、深刻な人口減少と高齢化を初めとした地域課題に対する新たな解決の切り口として、SDGsを有効活用していく。また、総合計画の遂行においてもSDGsを意識した町づくりを進めていく。

問 本町におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）取り組みの目的と効果は。

町長 DXの活用により、職員の業務効率化と適正人員配置を実現し、その効果を住民サービスの向上と迅速化に波及する。また、電子申請も一部導入しているが、今後は先進事例を研究する中で、さらに対応可能なサービスの充実させ、住民の利便性向上に努めている。

問 町民に対するSDGsの啓蒙は。

町長 一昨年、町の広報でSDGsの取り組み目標を紹介し、本庁舎には懸垂幕を掲げPRした。また、神明の花火大会は「持続可能な花火大会をめざして」をテーマに開催した。教育現場においては、すべての学校が学校生活や授業でSDGsに取り組んでおり、その内容を17の目標に当てはめることにより、学習としても活用している。

***SDGs：貧困や飢餓、環境保全などの課題解決のため、国連が持続可能な開発目標として定めた17の目標。**



***DX：コンピューターなどのデジタル技術を利用して、業務の効率化やサービスの向上を実現すること。**

問 不登校生徒やヤングケアラーに義務教育修了後も継続支援を

答 — 中学校卒業後も必要な支援を継続していく —

諏訪 桂一 議員

問 本町の小中学校の不登校の状況は。

渡井教育長 1月末時点で、30日以上欠席している小学生の割合は、0・6%、中学生は6・8%である。

問 本町のヤングケアラーの状況と支援体制について。

教育長 令和3年に、小6から中3まで実施したアンケート調査の結果、本町では世帯を訪問して回答した児童生徒の割合は約7%だった。町では各学校と連携を図り、ヤングケアラーと思われる子どもを早期発見に努めている。今後も、ヤングケアラー支援に積極的に取り組んでいきたい。

問 不登校児童生徒の学習保障について。

教育長 令和2年度に峡南教育支援センター（やまなみ教室）を、峡南4町で共同設置した。峡南地域の不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善のための相談指導を行うことにより、学校復帰を支援し、不登校児童生徒の社会的自立に資することを目的としている。

問 不登校生徒・ヤングケアラーの中学校卒業後の支援について。

町長 相談しやすい体制の充実や外部相談窓口の周知、相談につなげる支援等に取り組む中学校卒業後も継続して必要な支援を行っている。

***不登校：登校しないあるいはしたくともできない状況にある者のうち、年間30日以上欠席したものを除いたもの。**

***ヤングケアラー：法律上の定義はないが、本来は大人がやるべき日常や家族の世話（ケア）を日常的に行っている18歳未満の子どもを指す。本来子どもができる範囲を超え、心身に大きな負担がかかっていることが問題。**

討論

★市川三郷町行政組織条例改正

（反対）箕井雄一 議員

★国民健康保険税条例改正

（反対）一瀬正 議員

★令和5年度一般会計予算

（反対）一瀬正 議員

今回の改正は、子育て支援と関係するものが多い。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。

今回の改正は、子育て支援と関係するものが多い。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。

今回の改正は、子育て支援と関係するものが多い。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。

今回の改正は、子育て支援と関係するものが多い。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。

今回の改正は、子育て支援と関係するものが多い。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。子育て支援は、子育て世代の負担軽減につながる。

お詫言と訂正

（誤）小林和実氏

（正）小林和実氏

審議結果 第1回定例会（3月2日～16日）

専決処分の承認 1件	結果
令和4年度市川三郷町一般会計補正予算(第9号)	承認 全会一致
条例の制定・改正 10件	結果
市川三郷町職員の高齢者部分休業に関する条例制定	可決・全会一致
市川三郷町地域文化観光振興基金条例制定	可決・全会一致
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法令の整備に関する条例制定	可決・全会一致
市川三郷町職員の定年等に関する条例改正	可決・全会一致
市川三郷町職員定数条例改正	可決・全会一致
市川三郷町行政組織条例改正	可決・議長採決
市川三郷町国民健康保険条例改正	可決・全会一致
市川三郷町国民健康保険税条例改正	可決・議長採決
介護保険条例改正	可決・全会一致
国民健康保険税条例改正	可決・全会一致
令和4年度補正予算 12件	結果
一般会計補正予算(第10号)	可決・全会一致
国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決・全会一致
介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決・全会一致
訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算(第3号)	可決・全会一致
簡易水道特別会計補正予算(第4号)	可決・全会一致
公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決・全会一致
農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決・全会一致
戸別浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)	可決・全会一致
温泉事業特別会計補正予算(第1号)	可決・全会一致
歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算(第1号)	可決・全会一致
後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決・全会一致
峡南地域教育支援センター共同設置特別会計補正予算(第1号)	可決・全会一致
令和5年度当初予算 18件	結果
一般会計	可決・議長採決
国民健康保険特別会計	可決・議長採決
介護保険特別会計	可決・議長採決
介護サービス事業特別会計	可決・全会一致
訪問看護ステーション西八代特別会計	可決・全会一致
簡易水道特別会計	可決・全会一致
公共下水道事業特別会計	可決・全会一致
農業集落排水事業特別会計	可決・全会一致
戸別浄化槽整備推進事業特別会計	可決・全会一致
温泉事業特別会計	可決・全会一致
恩賜県有財産保護管理事業特別会計	可決・全会一致
市川財産区特別会計	可決・全会一致
高田財産区特別会計	可決・全会一致
大同財産区特別会計	可決・全会一致
歌舞伎文化公園管理特別会計	可決・全会一致
後期高齢者医療特別会計	可決・議長採決
峡南地域教育支援センター共同設置特別会計	可決・全会一致
水道事業特別会計	可決・全会一致
その他 2件	結果
三郡衛生組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更	可決・全会一致
字の区域変更	可決・全会一致
その他 3件	結果
要戸外子恩賜県有財産保護財産区管理委員会の委員選任	同意・全会一致
市川大門恩賜県有財産保護財産区管理委員会の委員選任	同意・全会一致
水上外一山恩賜県有財産保護財産区管理委員会の委員選任	同意・全会一致

次回定例会は 令和5年6月に予定されています

町のホームページから議会本会議の会議録の閲覧ができます。検索機能もあり便利です。ぜひご利用ください。

◆お問い合わせ 議会事務局

TEL 055-272-1108

みんなのページ



市川三郷町光勝寺に伝わる民話 「娘に化けた大ウナギ」

市川三郷町三珠地区樋田の鰻沢には、鰻がた
くさん住んでいた。

ある年光勝寺のお祭りの日に、若い衆が集まっ
て、その鰻をとる相談をした。毒を入れた土饅頭を
いくつも作って、毒もみの支度をしていると、そこへ
一人の見知らぬ美女が来て「そんなことをすれば
この沢の魚は皆死に絶える。罪なことをするもので
はない」といって止めた。

「まあこれでも食べなされ」と祭りの粟強飯を
食べさせて、その女を帰してから、若い衆は沢の
上流へ毒饅頭を持って行って、予定どおりに毒も
みをした。

すると谷川に大小の魚や鰻がたくさん死んで
浮いたが、一番深い岩の穴から太さ10センチメー
トル、長さ2メートルもある大鰻が1匹現れた。この
大鰻を捕え、かついで帰って腹を割いてみると、中
から粟強飯がこぼれ出てきた。

さては、さっき女に化けて来た鰻の主に違いない
といって、みんな気味を悪がり、誰一人その鰻を食
べる者はなかった。その後鰻沢へは、誰も殺生に行
かなくなったという。

＜土橋 里木編著 甲斐の伝説＞より



＜光勝寺＞



この民話が、日本財団の
「海ノ民話のまちプロジェクト」
により、アニメ化されました。

編集後記

四尾連湖には「尾崎龍王」と
いう四つの尾を連ねた龍神が住
んでいると言われ、むかし、干
ばつの時には、村人たちが湖ま
で牛の頭を背負って登り、湖水
に投げ入れ、雨乞いの儀式をし
たそうです。

私が子どもの頃、冬は氷った
湖面でスケート、夏は湖に飛び
込み向こう岸まで水泳と、楽し
い遊びの場でもありました。ま
た、春は若葉の輝き、秋は色鮮
やかな紅葉と、心癒やされる所
でもあります。

近頃はマンガの「ゆるキャン
△」などの影響もあって、キャン
プを楽しむ人々ににぎわいを
見せています。

市川三郷町の観光スポットの
一つとして、四尾連湖を県内外
の人々に知ってもらいたいもの
です。

(記 依田 十造)

議会広報編集特別委員会

委員長	齋藤 美佐
副委員長	新津 千吉
委員	諏訪 桂一
委員	一之瀬 滋輝
委員	東 研一
委員	依田 十造